マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- 本製品をお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

REGZA Tabletガイド

- 本製品の準備
- 本製品のセットアップ
- インターネットを使うには
- 初期化
- 廃棄／譲渡
- 各部の名前
- 電源の入れかた／切りかた
- バッテリーパックの交換
- Q&A集（電源が入らないとき）

など

オンラインマニュアル（本書）

本製品が起動しているときに本製品の画面上で見るマニュアルです。

- 本製品の基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリーで使う方法
- アプリケーション／設定について
- 本製品の動作がおかしいとき／Q&A集

など

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。
必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠危 険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 ● このマニュアルへの参照の場合…「　」 ● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

プラットフォーム

特に説明がない場合は、Android™ 3.1 プラットフォームを示します。

ご購入のモデルの仕様については、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールされているバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書に記載している画面やイラストは、本製品の画面を縦に長い状態で使用する場合を前提に説明しています。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

4 Trademarks

- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- NVIDIA、NVIDIA ロゴ、Tegra、Tegra ロゴ、Powered by NVIDIA ロゴは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SDロゴは商標です。（ ）
- SDHCロゴは商標です。（ ）
- SDXCロゴは商標です。（ ）
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- HDMI およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

- FSKAREN® は、富士ソフトの登録商標です。
- 「IPAフォント」は、IPAの登録商標です。
- Evernoteは、米EVERNOTE社の登録商標です。
- SRS PREMIUM VOICE PRO is a trademark of SRS Labs, Inc.
  SRS Premium Voice PRO technology is incorporated under license from SRS Labs, Inc.

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。
なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

このほかの使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 お願い

- 本製品のプラットフォーム、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 本製品のプラットフォーム、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- 本製品はセキュリティ対策のための画面ロックによるパターン／PIN／パスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、『エンドユーザーライセンス契約』をお読みください。また、本製品のセットアップ後に［アプリ］ボタン→［設定］→［タブレット情報］→［法的情報］で次の項目をタップし、それぞれ表示される画面をお読みください。
  ・オープンソースライセンス
  ・Google™利用規約＊1
  ・東芝利用規約
  ＊1 インターネットへの接続が必要です。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。初期化を行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 詳細について「付録 3 お客様登録の手続き」

8 H.264/AVC, VC-1and MPEG-4ライセンスについて

本製品は、AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL規格特許ライセンスのもとで、個人的利用および非商業利用目的に限り、お客様が以下のいずれか、または両方の使用を行うことが許諾されています。(i) AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL標準規格に従いビデオをエンコードすること（以下「AVCビデオ」、「VC-1ビデオ」、「MPEG-4ビデオ」という）、(ii) 個人的、非商業的行為においてお客様によりエンコードされた、または／およびAVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオを提供するためにMPEG LAからライセンスを受けたビデオ提供者から取得した、AVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオをデコードすること。ほかの使用についてはライセンスを許諾されていません。上記以外の販売、社内利用および商業的利用など利用／許諾に関する情報については、MPEG LAのHP（http://www.mpegla.com）より入手いただけます。

● **H.264/AVC, VC-1 and MPEG-4 License Notice**

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC, THE VC-1 AND MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i)ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE ABOVE STANDARDS ("VIDEO") AND/OR (ii)DECODING AVC, VC-1AND MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE SUCH VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE http://www.mpegla.com

9 SRS Premium Voice PRO™ information

SRS Premium Voice PRO™ provides a superior voice communication and multimedia experience for the PC.



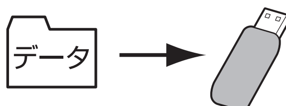
1章

使いはじめる前に

トラブル発生時に備えて、データのバックアップのとりかたについて説明します。

1 バックアップをとる

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、本製品のトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをSDメモリカードやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。



大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。
「TOSHIBA File Manager」でバックアップをとることもできます。

お願い　バックアップをとるにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 1 バックアップについて」を確認してください。

1 バックアップが必要なデータ

バックアップをとることを推奨するデータには、次のようなものがあります。

- 自分で作成したデータ（文書、画像、映像、音楽など）
- メールのデータやインターネットの［ブックマーク］

■インターネット接続の設定情報について

インターネット接続の設定情報は、データのバックアップがとれません。
設定情報はプロバイダーから送られてきた書類に記載されています。書類を大切に保管し、設定に必要な情報を忘れないようにしてください。
書類が手元にない場合は、次のインターネットの設定を控えてください。

- ユーザーID
- 電子メールアドレス
- プライマリDNS サーバー
- インターネットメールサーバー
- パスワード
- メールパスワード
- セカンダリDNS サーバー
- ニュースサーバー　　など

2 データのバックアップをとる

1 本製品のデータについて

本製品の内蔵フラッシュメモリは、データを記憶している領域が、次のように分かれています。

プラットフォーム領域	プラットフォーム領域です。 プラットフォームが保存されています。読み取り専用領域です。 バックアップをとることはできません。
アプリケーション領域	プラットフォームの設定、アプリケーション、アプリケーションの設定を保存している領域です。
データ領域	通常のファイルやフォルダーを保存している領域です。 「TOSHIBA File Manager」でファイルを個別に利用したり、コピーすることができます。 ファイルをバックアップする場合は、「TOSHIBA File Manager」で記録メディアにコピーしてください。 参照 「本章 2 データを管理する」

2 バックアップ用に使用できる記録メディア

バックアップ用に使用できる記録メディアは次のようなものがあります。

- USBフラッシュメモリやSDメモリカードなどの記録メディア

ファイルやフォルダーの容量に合わせて、使用する記録メディアを選び、あらかじめ用意してください。

2 データを管理する ―TOSHIBA File Manager―

「TOSHIBA File Manager」で、内蔵フラッシュメモリ、USBフラッシュメモリやメディアカードなどに保存しているフォルダーやファイルを見たり、コピーや削除をすることができます。

メモ

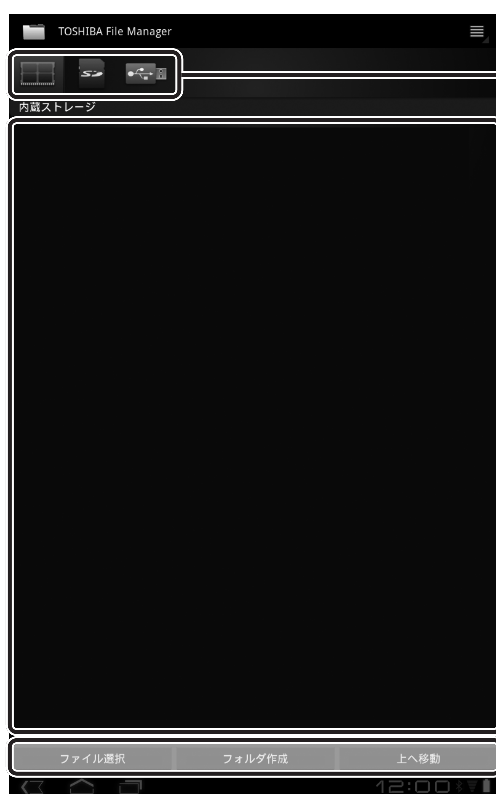
- 「TOSHIBA File Manager」から、ファイルに関連するアプリケーションを起動できない場合があります。

「TOSHIBA File Manager」の起動方法

1 ［アプリ］ボタン→［File Manager］をタップする

「TOSHIBA File Manager」が起動します。

「TOSHIBA File Manager」の使用方法



ファイルを保存する場所が、アイコンとして表示されています。

アイコンで選択した場所のファイルが表示されます。

ファイルの操作を行うエリアです。

保存する場所は次の通りです。

- 内蔵ストレージ　：内蔵フラッシュメモリのデータ領域
- SDカード　：ブリッジメディアスロットにセットしたメディアカード
- USBストレージ：USBコネクタに接続したUSBフラッシュメモリなどのUSB対応機器

ファイルのコピー方法

1 記録メディアをセットする

参照 USBフラッシュメモリのセット「4章 2 USB対応機器を使う」
メディアカードのセット「2章 4 - 2 カードのセットと取り出し」

2 「TOSHIBA File Manager」を起動する

3 コピーしたいファイルがある場所のアイコンをタップする

4 画面下の［ファイル選択］ボタンをタップし、コピーしたいファイルをチェックする

5 画面下の［コピー］ボタンをタップする

6 記録メディアをセットしている場所のアイコン（[SDカード]、[USBストレージ]）を選択する

メッセージが表示された場合は、目的の記録メディアを選択し、［OK］ボタンをタップしてください。

7 画面下の［貼り付け］ボタンをタップする

バックアップしたファイルを戻すには、「TOSHIBA File Manager」でバックアップをとった記録メディアから内蔵フラッシュメモリにコピーしてください。

2章

本製品の基本操作を覚えよう

本製品各部について、基本の使いかたなどを説明しています。

1 内蔵フラッシュメモリ

本製品には、内蔵フラッシュメモリが搭載されています。
内蔵フラッシュメモリは、取りはずしができません。

USB接続型のハードディスクなどにデータを保存することもできます。

お願い 操作にあたって

- 本製品を激しく揺らしたり、強い衝撃を与えると、故障の原因となる場合があります。
- あらかじめ、「付録 1 - 2 内蔵フラッシュメモリについて」を確認してください。

内蔵フラッシュメモリに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証できません。
万が一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

2 画面を見やすく調整する
－ディスプレイ－

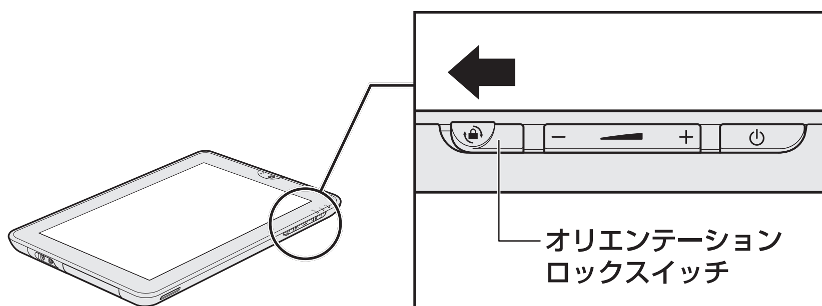
本製品は表示装置としてTFTカラー液晶ディスプレイを搭載しています。
外部ディスプレイを接続して使用することもできます。

1 画面の向きを設定する

本製品は、使用するときの状態に合わせて、画面表示の向きも自動的に切り替わるように設定されています。
自動的に画面の向きを切り替えず、固定の状態で使いたい場合は、次のように設定してください。

1 オリエンテーションロックスイッチを、矢印の方向にスライドする

固定したい角度に表示している状態で実行してください。



オリエンテーションロックスイッチの右側に赤い線が見えている状態のとき、画面の向きは固定されています。
固定を解除したい場合は、図の矢印とは反対側にスライドしてください。

また、［アプリ］ボタン→［設定］→［画面］の［画面の自動回転］で向きを固定／解除することもできます。［画面の自動回転］のチェックをはずすと画面が固定されます。［画面の自動回転］での設定は、オリエンテーションロックスイッチで画面を固定しているときには変更できません。

メモ

- アプリケーションによっては、画面を縦にした状態では適切に動作しない場合があります。その場合は、画面を横にした状態で使用してください。
- 次の場合は、画面が横に長い状態（Webカメラが左側）で固定されます。
  ・「カメラ」を起動した場合
  ・テレビ／外部ディスプレイを接続した場合
  ・ポート拡張クレードルを接続した場合
  など

2 画面の明るさを調整する

本体液晶ディスプレイの明るさ（輝度）を調整します。
購入時は、本体液晶ディスプレイの明るさ（輝度）を自動調整する機能が有効に設定されています。
自動調整する機能を無効にすると、任意で調整できます。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

［設定］画面が表示されます。

2 ［画面］→［画面の明るさ］をタップする

［画面の明るさ］画面が表示されます。

3 ［明るさを自動調整］にチェックがついている場合は、チェックをはずす

スライダーバーが表示されます。

4 スライダーバーで調整して、［OK］ボタンをタップする

3 サウンド

1 スピーカーの音量を調整する

スピーカーの音量は、次の方法で調整できます。

1 [−] または [＋] ボタンで調整する

1 **音量を小さくしたいときは音量小ボタン（[−]）、大きくしたいときは音量大ボタン（[＋]）を押す**

音量小ボタン（[−]）を押すたびに音量が小さくなり、音量大ボタン（[＋]）を押すたびに音量が大きくなります。

2 「設定」から調整する

1 **［アプリ］ボタン→［設定］をタップする**

［設定］画面が表示されます。

2 **［音］→［音量］をタップする**

［音量］画面が表示されます。

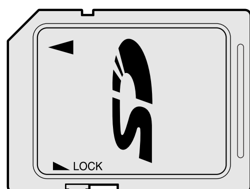
3 **スライダーバーで調整して、［OK］ボタンをタップする**

スライダーバーの左にあるアイコンをタップすると、一部の音を除いて、消音（ミュート）になります。

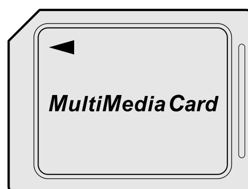
4 いろいろなメディアカードを使う
−ブリッジメディアスロット−

本製品では次のメディアカードをブリッジメディアスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

● SDメモリカード*[1]
（以降、SDHCメモリカード*[1]、
SDXCメモリカード*[1]を含みます。）

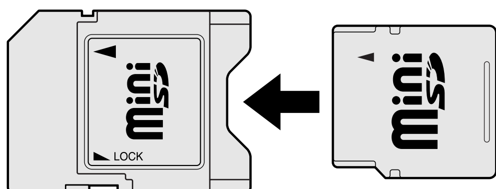


● マルチメディアカード

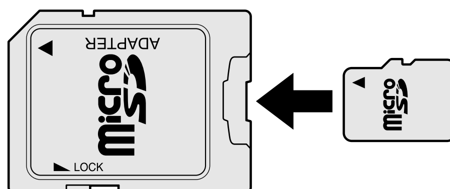


次のSDメモリカードは、市販のアダプターを装着すると、本製品のブリッジメディアスロットでも使用できます。必ずアダプターを装着した状態でご使用ください。

● miniSDメモリカード*[1]
（以降、miniSDHCメモリカード*[1]を含みます。）
SDメモリカードサイズのminiSDメモリカード用のアダプターを使用します。



● microSDメモリカード*[1]
（以降、microSDHCメモリカード*[1]を含みます。）
SDメモリカードサイズのmicroSDメモリカード用のアダプターを使用します。



＊1 著作権保護技術CPRMに対応していません。

アダプターの装着や使用方法は、『SDメモリカードに付属の説明書』を確認してください。

本書では、特に区別して説明する場合を除き、SDメモリカード、miniSDメモリカード、microSDメモリカードを「SDメモリカード」と呼びます。

メディアカードで使用できる容量については『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

コンパクトフラッシュメモリカードなどは使用できません。

1 メディアカードを使う前に

お願い メディアカードの使用にあたって

- あらかじめ、「付録 2 - 1 メディアカードを使うにあたって」を確認してください。

新品のメディアカードは、メディアカードの規格に合わせてフォーマットされた状態で販売されています。
フォーマットとは、メディアカードを使えるようにすることです。
フォーマットされていないものを購入した場合や再フォーマットをする場合は、メディアカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。

2 カードのセットと取り出し

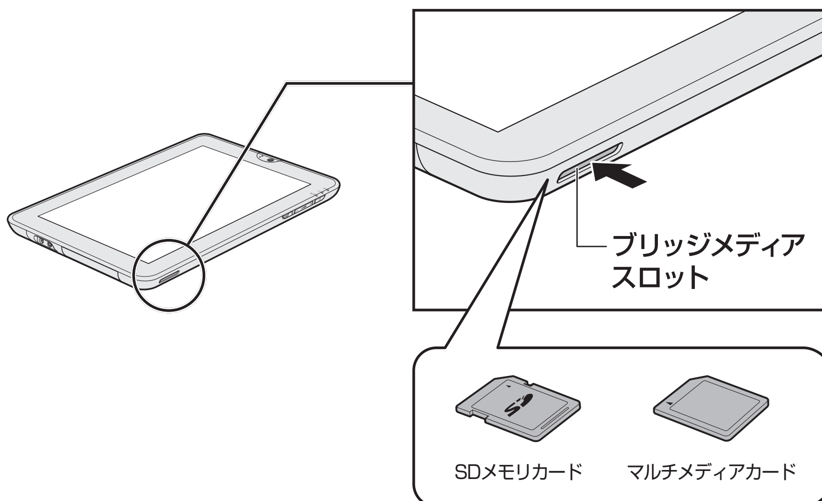
お願い 操作にあたって

- あらかじめ、「付録 2 - 1 - 1 メディアカードの操作にあたって」を確認してください。

1 セットする

1 メディアカードの表裏を確認し、表を上にして、ブリッジメディアスロットに挿入する

奥まで挿入します。



お願い

- miniSDメモリカード、microSDメモリカードは、SDメモリカードサイズのアダプターが必要です。
  アダプターを使用しないで直接挿入すると、取り出せなくなります。

2 セットしたメディアカードの内容を見る

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。
著作権保護されたファイルについては見ることができない場合があります。

1 「TOSHIBA File Manager」を起動する

参照 詳細について「1章 2 データを管理する」

2 ［SDカード］アイコン（ ）をタップする

セットしたメディアカードの内容が表示されます。

3 取り出す

メディアカードに保存しているファイルを使用していたり、ウィンドウを開いたりしていると、取り出しができません。
ウィンドウやファイルを閉じてから、操作を行ってください。

1 メディアカードの使用を停止する

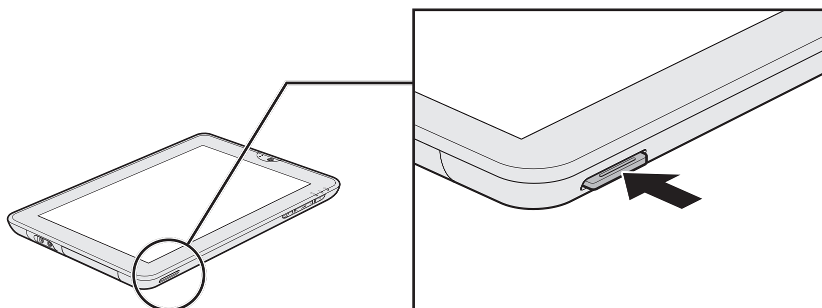
①［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

［設定］画面が表示されます。

②［ストレージ］→［SDカードのマウント解除］をタップする

メッセージが表示され、スロットからメディアカードの取り出しが可能になります。

2 メディアカードを押す

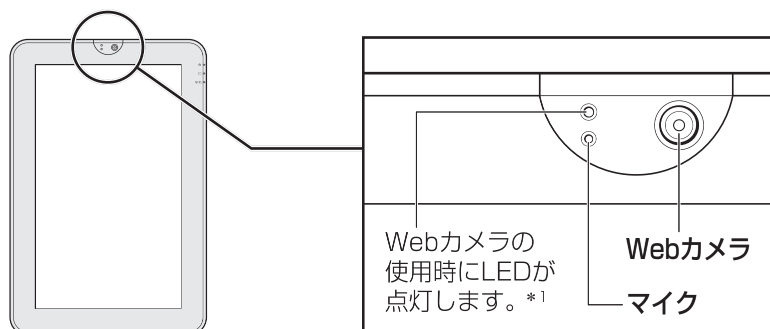


メディアカードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

5 Webカメラを使う

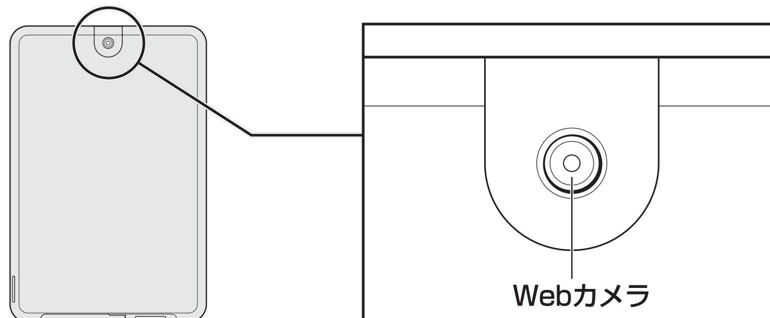
本製品には、「Webカメラ」が搭載されています。
専用のアプリケーションを使うと、インターネット経由で映像を送ったり、ビデオチャットを行ったりできます。
Webカメラはディスプレイ側と裏側の両方についているので、どちらからでも写真や動画を撮影することができます。

■ ディスプレイ側



＊1 ディスプレイ側のWebカメラを使用するときのみ点灯します。

■ 裏側



お願い Webカメラについて

- Webカメラに保護シートが貼ってある場合には、Webカメラを使用する前に、必ず保護シートをはがしてください。
- あらかじめ、「付録 1 - 3 Webカメラについて」を確認してください。

1 Webカメラのアプリケーションについて

本製品には、Webカメラ用のアプリケーションが用意されています。

1 起動方法

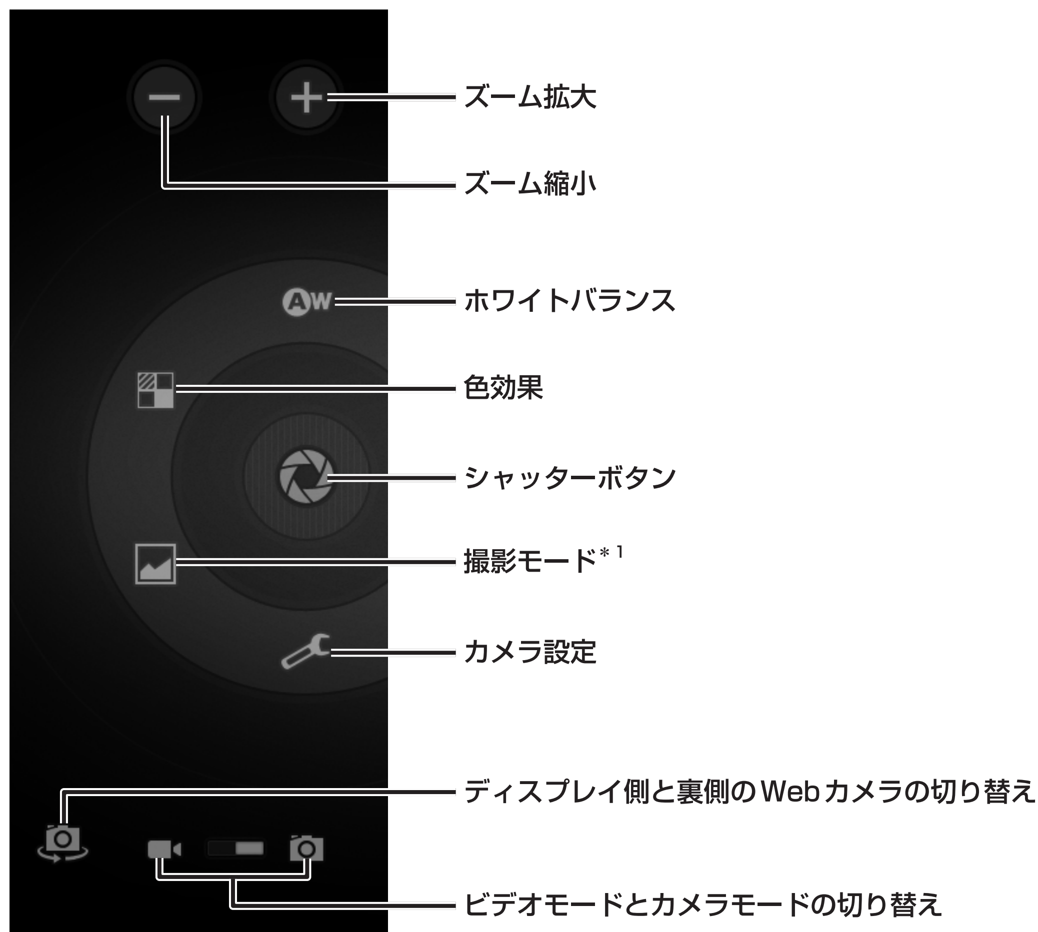
1 ［アプリ］ボタン→［カメラ］をタップする

「カメラ」が起動します。
「カメラ」を起動すると、画面の向きは横に長い状態（Webカメラが左側）で固定されます。

2 写真や動画を撮影する

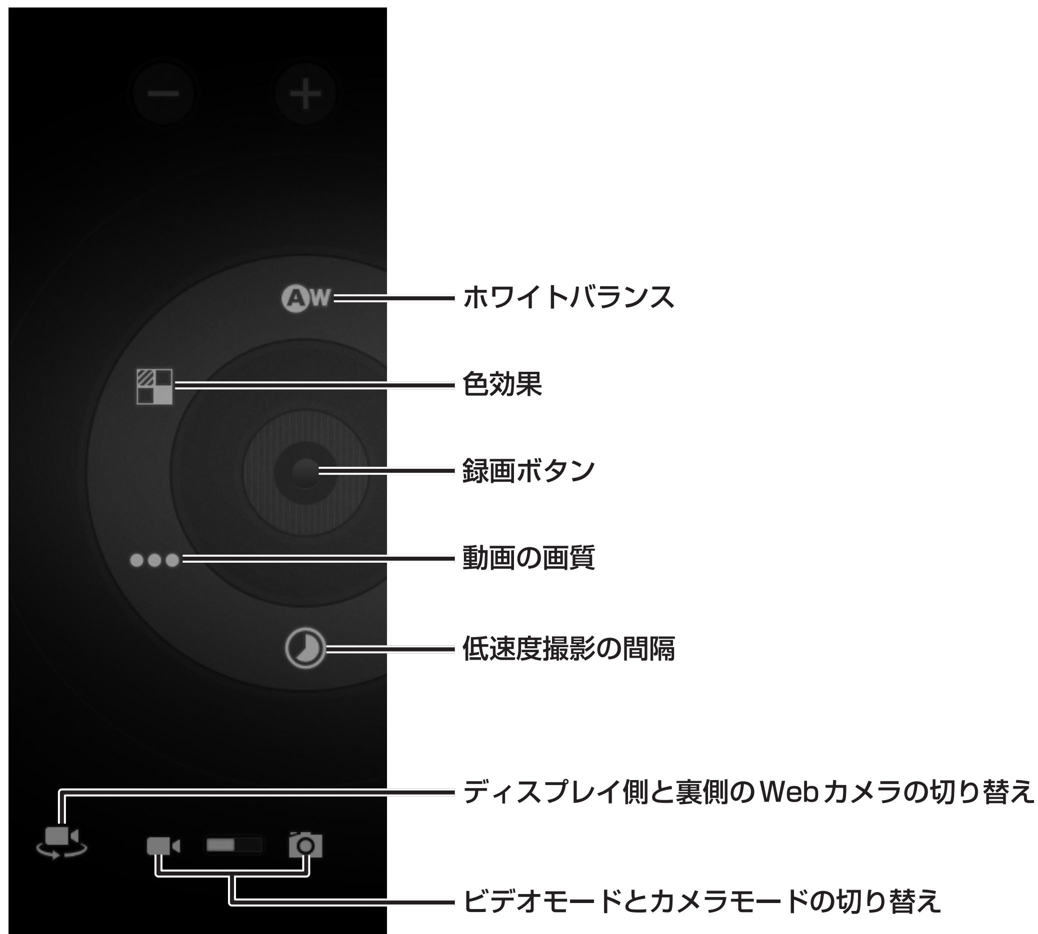
カメラモードとビデオモードを切り替えて使用します。
それぞれの操作ボタンについて説明します。

■カメラモードの場合



＊1　裏側のWebカメラを使用するときのみ表示されます。

■ビデオモードの場合



3 写真や動画を再生する

写真や動画を撮影すると、画面にサムネイルが表示されます。
サムネイルをタップすると、写真の場合は「ギャラリー」が起動して、写真を再生します。
動画の場合は「動画プレーヤー」または「TOSHIBA Media Player」を選択して、再生することができます。

6 ほかのパソコンに接続する
－ミニUSBコネクター

ミニUSB（ユーエスビー）コネクタで、ほかのパソコンに接続することができます。＊1

＊1 接続するパソコンのシステムまたはアプリケーションが、MTP（Media Transfer Protocol）に対応している必要があります。

パソコンに接続すると、パソコン側から本製品がMTPデバイスとして認識され、ファイルのコピーや削除などの操作ができます。

お願い USB対応機器の操作にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 - USB対応機器の操作にあたって」を確認してください。

ケーブルについて

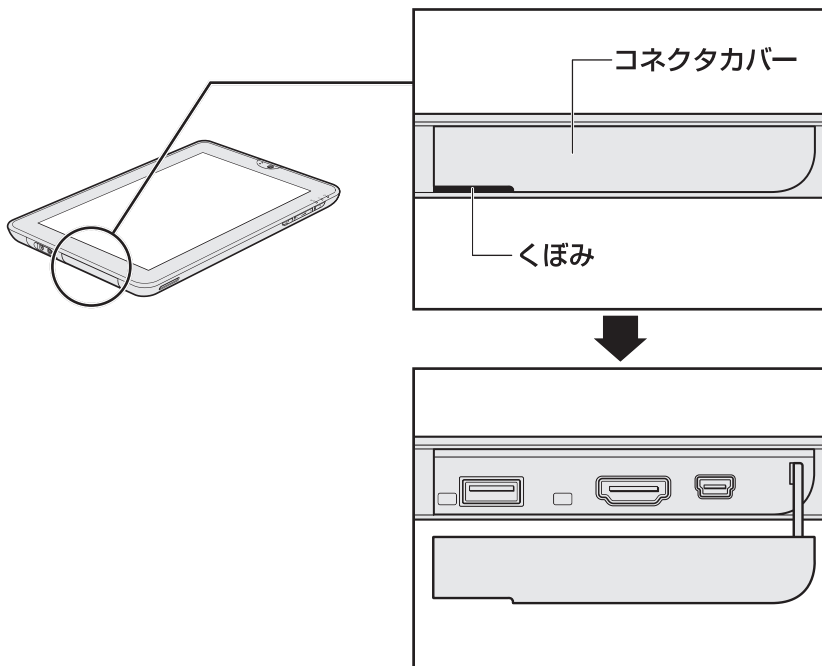
USBケーブルは、市販のもので、本製品に接続する側がミニBタイプのプラグのものを使用してください。
接続するパソコン側のプラグについては、『パソコンに付属の説明書』を確認してください。

1 取り付け

1 USBケーブルの一方のプラグを接続するパソコンのUSBコネクタに差し込む

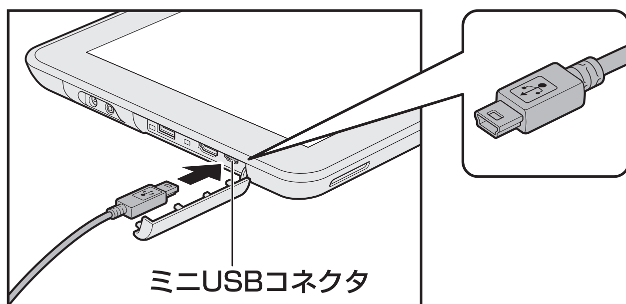
接続するパソコンの詳細は、『パソコンに付属の説明書』を確認してください。

2 コネクタカバーのくぼみに指をかけて、コネクタカバーをはずす



3 USBケーブルのもう一方のプラグを本製品のミニUSBコネクタに差し込む

プラグの向きを確認して差し込んでください。



2 取りはずし

1 パソコン上で本製品との接続を停止する

詳しくは、『パソコンに付属の説明書』を確認してください。

2 接続したパソコンと本製品に差し込んであるUSBケーブルを抜く

3 コネクタカバーを取り付ける

3 「Windows Media Player」で映像や音楽のファイルを同期する

接続したパソコンにインストールされている「Windows Media Player」の同期機能を使用すると、接続しているパソコンの映像や音楽のファイルを、本製品に同期することができます。
同期とは、「Windows Media Player」に登録している映像や音楽のファイルを、本製品にコピーする機能です。登録をはずした場合は、同期を行ったときに本製品からも削除されます。

「Windows Media Player」の同期機能は、［同期］タブで行います。

本製品の内蔵フラッシュメモリは大容量ではないため、たくさんの映像や音楽のファイルを同期することはできません。
映像や音楽のファイルを選別して、再生リストを作成し同期するか、手動で同期を行ってください。

詳しくは、「Windows Media Player」のヘルプを確認してください。

接続するパソコンの動作環境を確認する

本製品の同期機能は、「Windows Media Player」で11、12のバージョンが対応しています。

同期したファイルを再生する

同期して本製品に保存されたファイルは「TOSHIBA File Manager」でアプリケーションを選択して再生したり、「TOSHIBA Media Player」で再生することができます。

3 章

ネットワークの世界へ

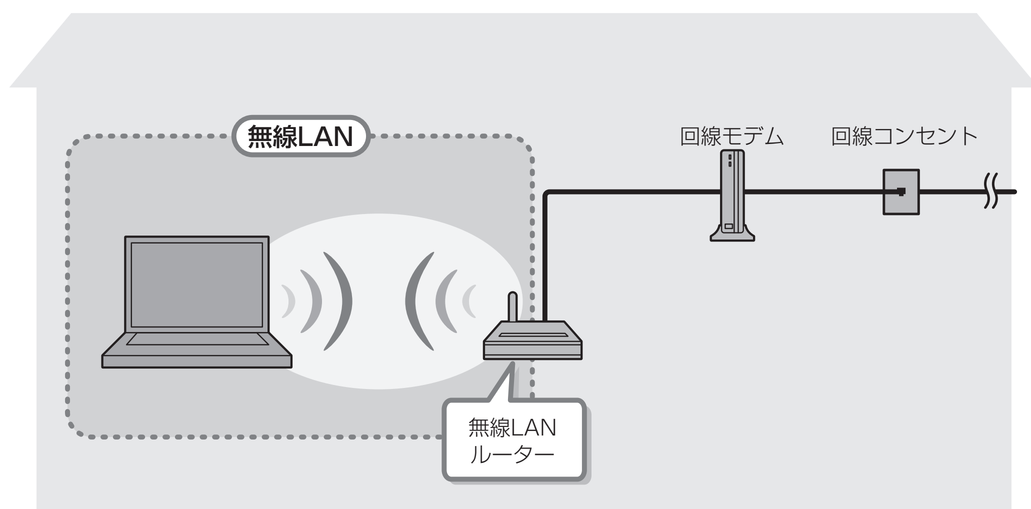
本製品に搭載されている通信に関する機能を説明しています。

1 ネットワークで広がる世界

インターネット接続を使いたいときは、ネットワークを使うと便利です。

1 LAN接続はこんなに便利

本製品では、ケーブルを使わない無線LAN（ラン）を使用できます。



（接続例）

■無線LAN

無線LANとは、LANケーブルを接続していない状態でもネットワークに接続できる、ワイヤレスのLAN機能のことです。モデムやルーターの位置とは関係なく、無線通信のエリア内であればあらゆる場所からネットワークに接続できます。
無線LANルーターや無線LANアクセスポイント（市販）を使用することによって、ワイヤレスでネットワーク環境を実現できます。

2 ワイヤレス（無線）LANを使う

1 無線LAN（無線通信機能）のON／OFF

⚠警告

- **心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す**
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- **電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る**
  本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は、システムバーをタップし、詳細表示をタップして表示される［クイック設定］メニューの［機内モード］でOFFにすることができます。［機内モード］をONに切り替えて無線機能をOFFに設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  ・サスペンドでは、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でも本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

お願い

- あらかじめ、「付録 1 - 4 無線LANについて」を確認してください。
- 『安心してお使いいただくために』に、セキュリティに関しての注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
  無線LANを使用する場合は、その記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1 システムバーをタップする



2 詳細表示をタップする



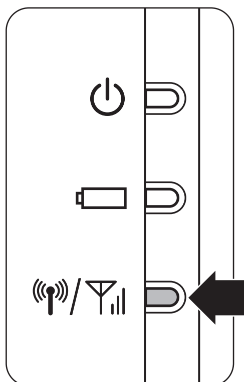
［クイック設定］メニューが表示されます。

3章 ネットワークの世界へ

3 ［機内モード］をOFFに切り替える



［機内モード］をOFFにすると無線通信機能がONになります。
無線通信機能がONに切り替わると、ワイヤレスコミュニケーション LEDが点灯します。



［機内モード］をOFFにしても無線通信機能がON（ワイヤレスコミュニケーション LEDが点灯）にならない場合、「設定」で無線LAN機能がOFFに設定されている可能性があります。
［クイック設定］メニューの［Wi-Fi］、または［アプリ］ボタン→［設定］→［無線とネットワーク］をタップし、表示された画面で［Wi-Fi］をチェックしてください。

また、無線通信機能は、［アプリ］ボタン→［設定］→［無線とネットワーク］の［機内モード］でON／OFFすることもできます。［機内モード］のチェックをはずすと無線通信機能がONになります。

2 無線LANアクセスポイントへの接続

無線LANアクセスポイントに接続する方法を説明します。

無線LAN機能を使用する場合、セキュリティ設定を行うことをおすすめします。
セキュリティの設定を行っていない場合、さまざまな問題が発生する可能性があります。

参照 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
『安心してお使いいただくために』

これらの問題に対応するためには、無線LANアクセスポイントと本製品の双方で通信データの暗号化などのセキュリティが必要になります。
本製品には、無線LANを使用するにあたっての問題に対応するためのセキュリティ機能が用意されています。
セキュリティ設定を行い、セキュリティ機能を有効にして本製品を使用すれば、それらの問題が発生する可能性を低くすることができます。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］をタップする

3 ［Wi-Fi］をチェックする

［機内モード］にチェックが付いている場合は、チェックをはずしてから操作してください。
無線LANを使用できるようになります。

4 ［Wi-Fi設定］をタップする

5 「Wi-Fiネットワーク」で接続するアクセスポイントをタップする

接続の設定画面が表示されます。

6 必要なネットワークセキュリティ情報を入力する

7 ［接続］をタップする

選択する項目、データ暗号化の方式、セキュリティ キーなどの詳細は、『無線LANアクセスポイントに付属の説明書』を確認のうえ、正しく設定してください。正しく設定していない場合、無線LANアクセスポイントに接続できない場合があります。

2 Bluetooth機能

Bluetoothワイヤレステクノロジーは、パソコンや周辺機器、携帯電話などの機器どうしで無線でデータをやりとりできる、世界標準の通信方式です。
Bluetoothワイヤレステクノロジーを搭載した機器であれば、お互いに通信相手を登録することで、簡単にデータのやりとりができます。

お願い Bluetooth機能の操作にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 5 Bluetoothについて」を確認してください。

メモ

- Bluetoothのバージョンによっては本製品と通信できないBluetooth対応機器があります。本製品では、Bluetooth Version 1.1、1.2、2.0、2.0+EDR、2.1、2.1+EDRのBluetooth対応機器と通信ができます。
- 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。

1 Bluetooth通信が可能な状態にする

⚠警告

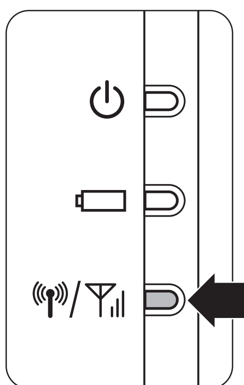
- **心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す**
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- **電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る**
  本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は、システムバーをタップし、詳細表示をタップして表示される［クイック設定］メニューの［機内モード］でOFFにすることができます。［機内モード］をONに切り替えて無線機能をOFFに設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  ・サスペンドでは、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でも本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

2 ［無線とネットワーク］をタップする

3 ［機内モード］のチェックをはずす

［機内モード］のチェックをはずすと無線通信機能がONになります。
無線通信機能がONに切り替わると、ワイヤレスコミュニケーション ((T))/Y.ıl LEDが点灯します。



［機内モード］をOFFにしても無線通信機能がON（ワイヤレスコミュニケーション ((T))/Y.ıl LEDが点灯）にならない場合、「設定」でBluetooth機能がOFFに設定されている可能性があります。
手順 4 に進んで、［Bluetooth］をチェックしてください。

4 ［Bluetooth］をチェックする

Bluetooth機能を使用できるようになります。

5 ［Bluetooth設定］をタップする

6 ［付近のデバイスの検索］をタップする

検出したBluetoothの外部機器が画面に表示されます。

7 接続するBluetoothの外部機器をタップする

［Bluetoothのペア設定リクエスト］画面が表示されます。
Bluetoothの外部機器が設定しているパスワードを入力してください。
Bluetoothの外部機器との接続が開始され、［ペアリングされたデバイス］に登録されます。以降は、［ペアリングされたデバイス］から接続／切断できます。

4章

周辺機器を使って機能を広げよう

本製品でできることをさらに広げたい。
そのためには周辺機器を接続して、機能を拡張しましょう。
本製品に取り付けられるさまざまな周辺機器の紹介と、よく使う周辺機器の取り付けかたや各種設定、取り扱いについて説明しています。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器とは、本製品に接続して使う機器のことです。周辺機器を使うと、本製品の性能を高めたり、本製品が持っていない機能を追加することができます。
周辺機器は、本製品の本体の周囲にあるコネクタや端子、スロットにつなぎます。
本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。
周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子、スロットの形状などの規格のことです。
購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。
周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。

お願い **周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 6 周辺機器について」を確認してください。

次の周辺機器が使用できます。

- USB対応機器
- テレビ
- 外部ディスプレイ
- ヘッドセット
- ヘッドホン
- ポート拡張クレードル

参照 「本章 2」以降

2 USB対応機器を使う

USB(ユーエスビー)対応機器は、電源を入れたままの取り付け／取りはずしができます。
また、新しい周辺機器を接続すると、自動的に機器を使用可能にするプラグアンドプレイに対応しています。
本製品では次のUSB対応機器を使用することができます。

- USBフラッシュメモリ
- USB接続型ハードディスクドライブ
- USB対応マウス
- USB対応キーボード
- USB対応ハブ

本製品のUSBコネクタにはUSB2.0対応機器とUSB1.1対応機器を取り付けることができます。
USB対応機器の詳細は、『USB対応機器に付属の説明書』を確認してください。

お願い USB対応機器の操作にあたって

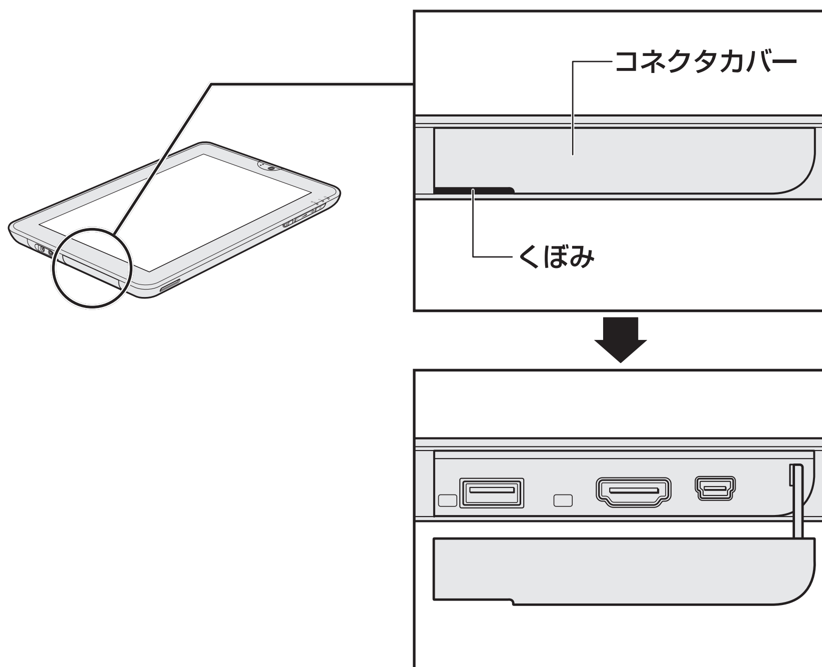
- あらかじめ、「付録 1 - 6 - USB対応機器の操作にあたって」を確認してください。

1 取り付け

1 USBケーブルのプラグをUSB対応機器に差し込む

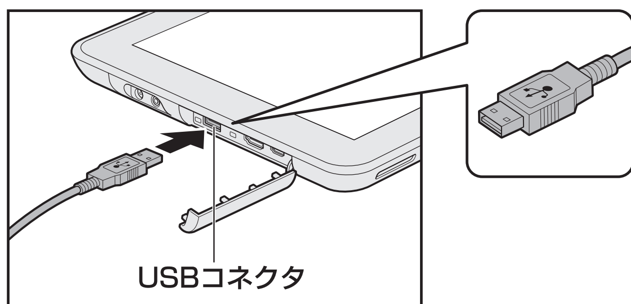
この手順が必要ない機器もあります。USB対応機器の詳細は、『USB対応機器に付属の説明書』を確認してください。

2 コネクタカバーのくぼみに指をかけて、コネクタカバーをはずす



3 USBケーブルのもう一方のプラグを本製品のUSBコネクタに差し込む

プラグの向きを確認して差し込んでください。



2 取り付けたUSB対応機器の内容を見る

USBフラッシュメモリやUSB接続型ハードディスクドライブに保存している、著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

1 「TOSHIBA File Manager」を起動する

参照 詳細について「1章 2 データを管理する」

2 [USBストレージ] アイコン（ ）をタップする

メッセージが表示されます。

3 目的のUSB対応機器を選択し、[OK] ボタンをタップする

セットしたUSBフラッシュメモリやUSB接続型ハードディスクドライブの内容が表示されます。

3 取りはずし

1 USBフラッシュメモリやUSB接続型ハードディスクドライブの場合は、使用を停止する

① [アプリ] ボタン→ [設定] をタップする

[設定] 画面が表示されます。

② [ストレージ] → 取りはずすUSB対応機器をタップする

メッセージが表示され、コネクタからUSB対応機器の取りはずしが可能になります。

2 本製品とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルを抜く

3 コネクタカバーを取り付ける

3 テレビ／外部ディスプレイの接続

本製品とテレビ／外部ディスプレイをＨＤＭＩ（エイチディーエムアイ）ケーブルで接続すると、画面に本製品の表示画面を表示させることができます。
HDMI出力端子は、音声もテレビ／外部ディスプレイに出力することができます。

お願い テレビ／外部ディスプレイ接続の操作にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 - テレビ／外部ディスプレイ接続の操作にあたって」を確認してください。

■接続の前に

テレビ／外部ディスプレイを接続するときは、『テレビ／外部ディスプレイに付属の説明書』もあわせて確認してください。
HDMI端子があるテレビ／外部ディスプレイを接続できます。

メモ

- 接続するケーブルは、市販のものを使用してください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（

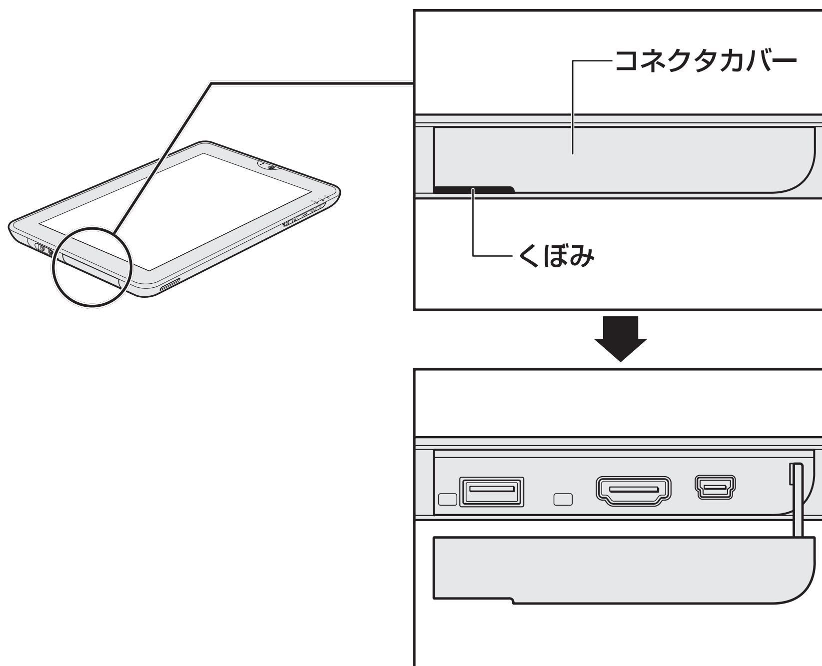
）の表示があるケーブルをご使用ください。
- テレビ／外部ディスプレイへの表示方法は、「本節 2 表示について」を参照してください。
- 使用可能なテレビ／外部ディスプレイは、本体液晶ディスプレイで設定している解像度により異なります。解像度にあったテレビ／外部ディスプレイを接続してください。

1 本製品に接続する

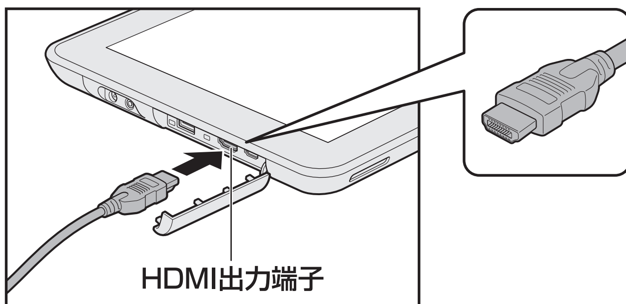
1 HDMIケーブルのプラグをテレビまたは外部ディスプレイのHDMI入力端子に差し込む

2 テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れる

3 コネクタカバーのくぼみに指をかけて、コネクタカバーをはずす



4 HDMIケーブルのもう一方のプラグを本製品のHDMI出力端子に差し込む



メモ

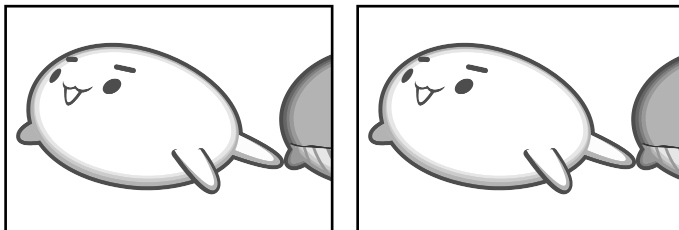
- HDMI接続で、テレビまたは外部ディスプレイに映像を映しているとき、HDMIケーブルを抜いたあと、再度HDMIケーブルを接続する場合は５秒以上間隔をあけてください。

2 表示について

テレビ／外部ディスプレイを接続した場合は、本体液晶ディスプレイと同じ内容が表示されます。
また、画面の向きは横に長い状態（Webカメラが左側）で固定されます。

■本体液晶ディスプレイとテレビ／外部ディスプレイの同時表示

2つの表示装置それぞれに表示します。



メモ

- テレビ／外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイを同時表示させる場合は、同時表示の種類や設定に合った色数／解像度で表示されます。
- テレビ／外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、テレビ／外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。

3 本製品から取りはずす

テレビまたは外部ディスプレイと本製品の電源を切った状態で取りはずしてください。

1. HDMI出力端子からケーブルを抜く
2. コネクタカバーを取り付ける

4 ヘッドセットやヘッドホンを使う

本製品には、ヘッドセットやヘッドホンを接続できます。
ヘッドセットを使うと、音声ソフトの使用や音声を使ったチャットを行うことができます。
本製品で外付けのマイクを使うときは、ヘッドセットのマイクを使用してください。

お願い ヘッドセットやヘッドホンの操作にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 - ヘッドセットやヘッドホンの操作にあたって」を確認してください。

音量は音量小ボタン（ − ）と音量大ボタン（ ＋ ）、または「設定」の［音］→［音量］で調節してください。

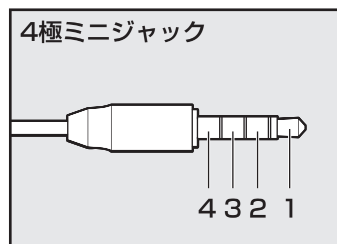
参照 「2章 3 サウンド」

1 ヘッドセットを使う

マイク入力/ヘッドホン出力共通端子には、ヘッドセットを接続できます。

1 使用できるヘッドセット

本製品で使用できるヘッドセットは次のとおりです。

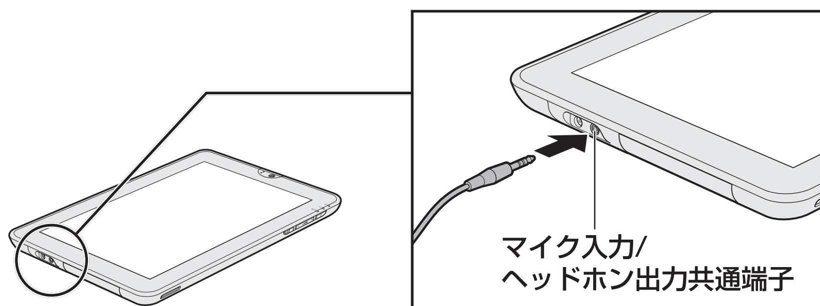


- プラグは直径3.5mm4極ミニジャックタイプが使用できます。
- すべてのヘッドセットに対応するものではありません。
- 左図の数字は、次の内容を示します。
  1：オーディオ左
  2：オーディオ右
  3：グランド
  4：マイク

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するヘッドセットを使用してください。

2 接続する

1 ヘッドセットのプラグをマイク入力/ヘッドホン出力共通端子に差し込む



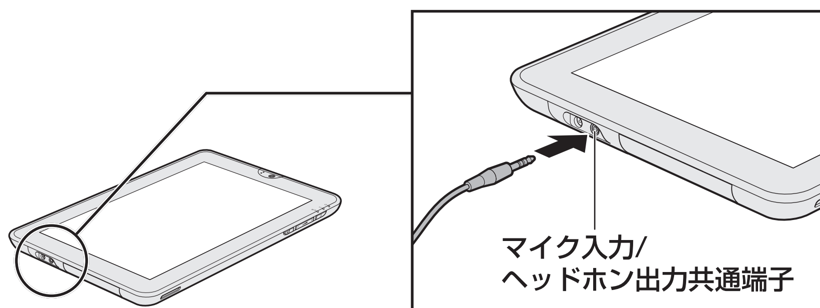
取りはずすときは、マイク入力/ヘッドホン出力共通端子からヘッドセットのプラグを抜きます。

2 ヘッドホンを使う

マイク入力/ヘッドホン出力共通端子にヘッドホンを接続して、音楽や音声を聞くことができます。
ヘッドホンのプラグは、直径3.5mmステレオミニジャックタイプを使用してください。

1 接続する

1 ヘッドホンのプラグをマイク入力/ヘッドホン出力共通端子に差し込む



取りはずすときは、マイク入力/ヘッドホン出力共通端子からヘッドホンのプラグを抜きます。

5 ポート拡張クレードルを使う

本製品のドッキングポートに、オプションのポート拡張クレードル（型番：PAAPR009）を接続することができます。
ポート拡張クレードルには、さまざまな周辺機器を接続することができるため、本製品の機能を広げることができます。

1 ポート拡張クレードルについて

本体との接続方法など詳細は、『ポート拡張クレードル取扱説明書』を参照してください。
ポート拡張クレードルを接続すると、本体の電源コネクタは使用できなくなりますので、ポート拡張クレードルの電源コネクタを使用してください。
ポート拡張クレードルのうち、本製品に対応しているコネクタは、次のとおりです。
（　）内はコネクタの数です。

- ヘッドホン出力端子
- USB 2.0 コネクタ（2）
- HDMI 出力端子

ポート拡張クレードルと本製品のHDMI出力端子を同時に使用することはできません。

5章

バッテリー駆動で使う

本製品をモバイル使用する際に大事な存在であるバッテリーは、使いかたによっては長持ちさせることができます。
ここでは、充電や充電量の確認などについて説明しています。

1 バッテリーについて

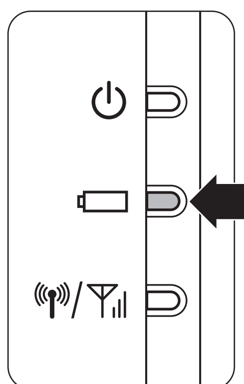
本製品は、バッテリーパックを取り付けた状態で使用してください。
本製品を初めて使用するときは、ACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。
バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動（ACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。
バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリーパックを取り付けてください。
指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。
『安心してお使いいただくために』や『REGZA Tabletガイド』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 システムインジケーターで確認する

ACアダプターを使用している場合、DC IN/Battery LEDが点灯します。



DC IN/Battery LEDは次の状態を示しています。

白色の点灯	充電完了
オレンジ色の点灯	充電中
オレンジ色の点滅	充電が必要 参照 バッテリーの充電について「本節 2 バッテリーを充電する」
消灯	・ACアダプターが接続されていない ・バッテリーが装着されていない 上記のいずれにも当てはまらない場合は、バッテリー異常の可能性があります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

2 ステータスバーエリアの［バッテリー］アイコンで確認する

ステータスバーエリアの［バッテリー］アイコンの表示によってバッテリーの状態を確認できます。

バッテリーアイコン	バッテリーの状態
	バッテリー残量が極めて少なく、充電が必要な状態
	バッテリーの一部が使用されている状態
	バッテリーがフル充電されている状態
	バッテリーを充電中の状態

3 「設定」で確認する

次の手順で、より正確なバッテリー残量を確認できます。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

［設定］画面が表示されます。

2 ［タブレット情報］→［端末の状態］をタップする

3 ［電池残量］を確認する

4 バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- DC IN/Battery LEDがオレンジ色に点滅する（バッテリーの残量が少ないことを示しています）
- ステータスバーエリアの［バッテリー］アイコンの表示が に変わる

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

- 本製品にACアダプターを接続し、充電する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

メモ

- 1ヵ月以上の長期にわたり、ACアダプターを接続したまま本製品を使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、DC IN/Battery LEDや［バッテリー］アイコン、［電池残量］で充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に1度は再充電することを推奨します。
- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、DC IN/Battery LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

5 時計用電池

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用電池が内蔵されています。
本製品に表示される日時が設定した内容と違っている場合、時計用電池が切れて初期設定に戻ってしまった可能性があります。日時を再設定してもしばらくしてまた初期設定に戻ってしまうときは、時計用電池を交換する必要があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

2 バッテリーを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い バッテリーを充電するにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 7 - バッテリーを充電するにあたって」を確認してください。

1 充電方法

1 本製品にACアダプターを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

DC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、電源のON／OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 DC IN/Battery LEDが白色になるまで充電する

バッテリーの充電中はDC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN/Battery LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプター、電源コード、バッテリーの接続を確認してください。



- 本製品を長時間ご使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

■充電完了までの時間

バッテリー充電時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
周囲の温度が低いとき、バッテリーパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けているとき、アプリケーションを使用しているときは、充電完了まで時間がかかることがあります。
詳しくは、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
詳しくは、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■バッテリー駆動時の処理速度

高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、十分な性能を発揮するためにACアダプターを接続してご使用ください。

■使っていないときの充電保持時間

本製品を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。バッテリーの保持時間は、放置環境などによって異なります。

2 バッテリーを長持ちさせる

本製品のバッテリーをより有効に使うための工夫を紹介します。

バッテリーの機能低下を遅くする方法

次の点に気をつけて使用すると、バッテリーの機能低下を遅くすることができます。

- 本製品とACアダプターをコンセントに接続したままの状態で、本製品を長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントからはずしてください。
- 1ヵ月以上の長期間バッテリーを使わない場合は、本製品からバッテリーをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- おもにACアダプターを接続して本製品を使用し、バッテリーパックの電力をほとんど使用しないなど、100%の残量近辺で充放電をくり返すとバッテリーの機能低下を早める場合があります。
- 1ヵ月に1度は、ACアダプターをはずしてバッテリー駆動で本製品を使用してください。

バッテリー充電量を節約する方法

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- 入力しないときは、サスペンドに設定する

3 バッテリーパックを保管する

バッテリーパックを保管するときは、次の説明をお読みください。
また、『安心してお使いいただくために』や『REGZA Tabletガイド』にも、バッテリーパックを保管するときの重要事項が記述されています。あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

- 充電状態のバッテリーパックを放置しておくとバッテリーが機能低下し、もう一度充電したときの容量が減少してしまいます。この機能低下は、保存温度が高いほど早く進みます。
- バッテリーパックの電極（金属部分）がショートしないように、金属製ネックレス、ヘアピンなどの金属類と混在しないようにしてください。
- 落下したり衝撃がかかったりしないよう安定した場所に保管してください。

6章

アプリケーション／設定

本製品に用意されているアプリケーションや設定について説明しています。

1 アプリケーション

［アプリ］ボタンをタップすると表示される［アプリケーションメニュー］画面に用意されているアプリケーションについて、説明します。
アプリケーションはあとから追加することもできます。

参照 アプリケーションの起動方法『REGZA Tabletガイド 1章 6 - 2 本製品の基本操作』

1 アプリケーションを使うにあたって

本製品に用意されているアプリケーションの一覧は、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。
ここでは、一部のアプリケーションのご使用にあたって、知っておいていただきたいことを説明します。

インターネット／通信

■ブラウザ

インターネットブラウザソフトです。ホームページの閲覧ができます。
ホームページのレイアウト（フレーム）、内容によっては、正しく表示できない場合があります。
ファイルのアップロードについては、サポートしておりません。

実用

■TOSHIBA File Manager

内蔵フラッシュメモリ、USBフラッシュメモリやSDメモリカードなどに保存している、フォルダーやファイルを見たり、コピーすることができます。

参照 「1章 2 データを管理する」

■Evernote

「Evernote」のサービスに登録すると、テキストやWebページ、写真などを保存することができます。

マルチメディア

■TOSHIBA Media Player

音楽や映像、写真などのファイルを再生することができます。
DMP機能は、Windows 7上の「Windows Media Player 12」のみを対象としており、その他のDLNAやUPnP機器との接続は保証しておりません。
プラットフォーム側の制限で、曲名などの表示において一部の2バイト文字コードが正しく処理されません。
ファイルの検索中は、メディアカードおよびUSBフラッシュメモリやUSB接続型ハードディスクドライブの取りはずしや使用停止をしないでください。音楽や映像の再生が停止する場合があります。

■音楽

本製品に保存されている音楽ファイルを再生することができます。
プラットフォーム側の制限で、曲名などの表示において一部の2バイト文字コードが正しく処理されません。

■カメラ

Webカメラで写真や動画を撮影することができます。

参照 「2章 5 Webカメラを使う」

■ギャラリー

内蔵フラッシュメモリ、USBフラッシュメモリやSDメモリカードに保存している静止画や映像などのファイルを一覧表示し、再生することができます。
内蔵フラッシュメモリ内に保存されているファイルと、記録メディアや外部記憶装置内に保存されているファイルは、区別なく一元表示されます。



役立つ操作集

codecについて

「TOSHIBA Media Player」、「音楽」、「ギャラリー」でサポートしているcodecは、次のとおりです。
エンコード条件によっては、正常に再生あるいは表示できない場合があります。

- 音楽
  - ・AAC LC
  - ・HE-AACv1（AAC+）
  - ・HE-AACv2（enhanced AAC+）
  - ・AMR-NB
  - ・AMR-WB
  - ・MP3
  - ・MIDI
  - ・Ogg Vorbis
  - ・WAVE（PCM、a-law、u-law）
  - ・WMA
- 画像
  - ・JPEG
  - ・GIF
  - ・PNG
  - ・BMP
- 映像
  - ・H.263
  - ・H.264
  - ・MPEG-4
  - ・VC-1/WMV

その他 ユーティリティ

■Online Manual

「オンラインマニュアル」（本書）を起動できます。

■連絡先

漢字の氏名は、よみがなを登録すると、よみがなの順で表示されます。よみがなを登録しないと、「他」以降に表示されます。

■TOSHIBA Service Station

ソフトウェアのアップデートを自動的に提供するためのソフトウェアです。

参照 詳細について
『REGZA Tabletガイド 1章 4 - 1 - 5「TOSHIBA Service Station」について』

2 設定

本製品を使用するときの、さまざまな環境の設定については、「設定」で変更や確認をすることができます。
「設定」の各項目について説明します。

参照 「設定」の操作方法『REGZA Tabletガイド 1章 6 - 2 本製品の基本操作』

1 設定の項目

■無線とネットワーク

無線LANやBluetoothの設定を行うことができます。

参照 無線LANについて「3章 1 - 2 ワイヤレス（無線）LANを使う」
参照 Bluetoothについて「3章 2 Bluetooth機能」

■音

本製品の音量などの設定を行うことができます。

参照 音量について「2章 3 サウンド」

■画面

画面の輝度や画面表示のOFFなどの設定を行うことができます。

参照 輝度について「2章 2 画面を見やすく調整する」

■マルチメディア

映像や音の効果を変更することができます。
「レゾリューションプラス」機能、「Adaptive Display」機能、「Audio Enhancer」機能、「Noise Equalizer」機能、「SRS Premium Voice Pro™」機能などを制御することができます。

■現在地情報とセキュリティ

現在地情報の設定と、画面ロックなどのセキュリティを設定することができます。

参照 「本章 3 画面ロック」

■アプリケーション

アプリケーションを管理します。

■アカウントと同期

アカウントの管理と同期の設定を行うことができます。

■バックアップと復元

データのバックアップの設定と、データの初期化を行うことができます。

参照 データの初期化について『REGZA Tabletガイド 4章 3 初期化をする』

■ストレージ

セットしている外部記憶装置と、内蔵フラッシュメモリのデータ領域の情報を確認することができます。

参照 メディアカードについて「2章 4 いろいろなメディアカードを使う」

■言語と入力

言語や入力の設定を行うことができます。

■ユーザー補助

ユーザー補助アプリケーションに関する設定などを行うことができます。
ユーザー補助アプリケーションがインストールされていない場合、表示されるメッセージに従ってインストールすることができます。

■日付と時刻

日付と時刻の設定を行うことができます。
本製品では、2038年1月18日までしか設定することはできません。

■タブレット情報

本製品の情報を確認できます。

3 画面ロック

「画面ロック」は、電源を入れたときやサスペンドから復帰するときにロック画面を表示し、特定の操作をしないと解除できないようにする機能です。
パターン／PIN／パスワードを事前に設定しておくと、パターン／PIN／パスワードを入力しないと解除できないようにすることができます。

お願い

- **パターン／PIN／パスワードを設定した場合は、忘れてしまったときのために必ずパターン／PIN／パスワードを控えてください。**
  パターン／PIN／パスワードを忘れてしまって、パターン／PIN／パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパターン／PIN／パスワードを解除いたします。
  その際、本製品を購入後にインストールしたアプリケーションや各種設定と、［内蔵ストレージ］フォルダー（データ領域）に作成したデータはすべて消失します。
  ご依頼にあたって、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

  参照 『サポートガイド』

1 パターン／PIN／パスワードの設定方法

パターン／PIN／パスワードのいずれかを設定できます。

❏ パターンの設定方法

画面上に表示された９個の丸の中から複数の丸をなぞる順番をパターンと呼びます。

1 **［アプリ］ボタン→［設定］をタップする**

2 **［現在地情報とセキュリティ］→［画面ロックの設定］をタップする**

3 **［パターン］をタップする**

画面ロックの説明画面が表示された場合は、手順 **4** に進んでください。
［ロック解除パターンを入力］画面が表示された場合は、手順 **5** に進んでください。

4 説明を確認し、［次へ］ボタンをタップする

［ロック解除パターンを入力］画面が表示されます。



5 新しいパターンを入力する

お願い

- パターンを忘れてしまったときのために、必ずパターンを控えてください。



パターンの入力方法は、画面に指をつけたまますべらせて、画面の４箇所以上の丸をなぞります。

（パターンは入力例です）

6 ［次へ］ボタンをタップする

［確認のため、もう一度パターンを入力してください］画面が表示されます。

7 手順 5 のパターンをもう一度入力する

8 ［確認］ボタンをタップする

パターンが設定されました。

❑ PINの設定方法

画面上に表示されたキーボードの 0 〜 9 の数字キーを入力する順番をPINと呼びます。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］→［画面ロックの設定］をタップする

3 ［PIN］をタップする

［PINを選択］画面が表示されます。

4 新しいPINを入力する

お願い

- PINを忘れてしまったときのために、必ずPINを控えてください。

PINの入力方法は、画面上に表示されたキーボードの 0 〜 9 の数字キーをタップします。4つ以上の数字キーで入力してください。

5 ［次へ］ボタンをタップする

［PINの確認］画面が表示されます。

6 手順 4 のPINをもう一度入力する

7 ［OK］ボタンをタップする

PINが設定されました。

❏ パスワードの設定方法

画面上に表示されたキーボードのキーで文字を入力する順番をパスワードと呼びます。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］→［画面ロックの設定］をタップする

3 ［パスワード］をタップする

［パスワードを選択］画面が表示されます。

4 新しいパスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れてしまったときのために、必ずパスワードを控えてください。

パスワードの入力方法は、画面上に表示されたキーボードのキーをタップします。
半角英数字４文字以上で入力してください。
英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

5 ［次へ］ボタンをタップする

［パスワードを確認］画面が表示されます。

6 手順 4 のパスワードをもう一度入力する

7 ［OK］ボタンをタップする

パスワードが設定されました。

2 画面ロックの解除方法

「画面ロック」が設定されていると、電源を入れたときやサスペンドから復帰するときにロック画面が表示されます。
パターン／PIN／パスワードを設定している場合は、設定したパターン／PIN／パスワードを入力し、PIN／パスワードの場合は［OK］をタップしてください。
パターン／PIN／パスワードを設定していない場合は、画面に鍵のアイコン（ ）が表示されます。
このアイコンをタップするとタップしているアイコンが○に変わり、右側に鍵のアイコンが表示されます。○のアイコンを鍵のアイコンのラインまでドラッグすると、ロック画面を解除できます。

3 パターン／PIN／パスワードの削除手順

パターン／PIN／パスワードの使用をやめる場合は、パターン／PIN／パスワードを削除してください。

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

2 ［現在地情報とセキュリティ］→［画面ロックの設定］をタップする

現在のパターン／PIN／パスワードを入力する画面が表示されます。

3 設定しているパターン／PIN／パスワードを入力する

PIN／パスワードの場合は、入力後に［次へ］ボタンをタップしてください。

4 ［保護されていません］をタップする

設定していたパターン／PIN／パスワードが削除されます。

4 パターン／PIN／パスワードの変更方法

パターン／PIN／パスワードを変更したい場合は、現在のパターン／PIN／パスワードを削除してから、新たに設定してください。

5 画面ロックをOFFにする

「画面ロック」をOFFにしたい場合は、［画面ロックの設定］で［OFF］をタップしてください。OFFにした後でもう一度ONにしたい場合は、パターン／PIN／パスワードを設定するか、［画面ロックの設定］で［保護されていません］をタップしてください。

7章

困ったときは

本製品の操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

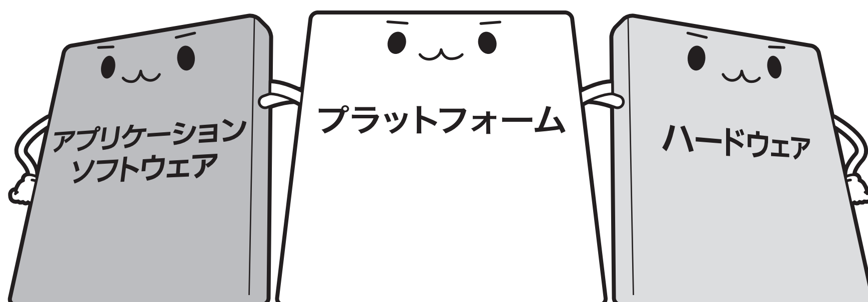
1 トラブルを解消するまでの流れ

本製品に起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

1 トラブルの原因をつき止めよう

本製品に起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、本製品の構造をある程度知っておくことが必要です。
ここでは、本製品の構成とトラブル対処法を紹介します。

■本製品を構成する３つの部分



● **アプリケーションソフトウェアとは**
メールやインターネットは、アプリケーションソフトウェアの機能です。文書作成ソフトや表計算ソフト、ウイルスチェックソフトもアプリケーションソフトウェアの代表的なものです。それぞれ製造元が異なります。

● **プラットフォームとは**
本製品を動かすための基本的な環境を指します。

● **ハードウェアとは**
バッテリー、ACアダプター、ディスプレイ、内蔵フラッシュメモリ、CPUなどの、本製品や接続する機器を指します。

本製品はこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状に合わせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→プラットフォーム→ハードウェア（本製品の本体）の順にチェックします。

2 トラブル対処法

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 Q&Aを読む

本書では、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。
また、『REGZA Tabletガイド』にもQ&Aが記載されているので、あわせて読んでください。

STEP2『REGZA Tabletガイド』を読む

本製品には『REGZA Tabletガイド』と「オンラインマニュアル」、2冊のマニュアルがあります。
『REGZA Tabletガイド』も読んでください。

STEP3 サポートのサイトで調べる

本製品独自のサポートサイト「サポート情報」Webページへ接続すると、各種サポート情報から解決方法を探すことができます。

http://dynabook.com/assistpc/tab/index_j.htm

本製品の「サポート情報」Webページでは、よくあるご質問（FAQ）やお問い合わせ先、修理のご依頼など、本製品のご使用にあたってのサービス・サポート情報をご提供しています。

＊あらかじめインターネットへの接続設定を行ってください。

参照 詳細について『サポートガイド』

それでもトラブルが解消しない場合は、お問い合わせください。
本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は『REGZA Tabletガイド 5章 4 お問い合わせ先』で確認してください。

2 Q&A集

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『REGZA Tabletガイド』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『REGZA Tabletガイド』も参照してください。

1 画面／表示

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。電源スイッチを押すと表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A 購入時は、本体液晶ディスプレイの明るさ（輝度）を自動調整する機能が有効に設定されています。

輝度は、［アプリ］ボタン→［設定］→［画面］→［画面の明るさ］で調整することもできます＊1。

＊1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

参照 「2章 2 - 2 画面の明るさを調整する」

Q 画面が回転する／回転しない

A 購入時は、手に持っているときの角度に合わせて画面表示が回転する機能が有効に設定されています。

オリエンテーションロックスイッチで、本製品をどの角度で持っても回転しないように設定することもできます。

参照 「2章 2 - 1 画面の向きを設定する」

2 操作／取り扱い

Q 操作しても反応がない

A プラットフォームが処理中の可能性があります。

プラットフォームが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。プラットフォームの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q 本製品に飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体が本製品内部に入ったときは、ただちに電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取りはずして、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

3 その他

Q 本製品の近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対する本製品の方向を変える
- 本製品をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルターを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

2 内蔵フラッシュメモリについて

操作にあたって

- 内蔵フラッシュメモリにアクセス中は、電源を切ったり、本製品の本体を動かしたりしないでください。内蔵フラッシュメモリが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- 内蔵フラッシュメモリに保存しているデータや重要な文書などは、万が一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にSDメモリカードやUSBフラッシュメモリなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、内蔵フラッシュメモリ、SDメモリカード、USBフラッシュメモリなどに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 磁石、スピーカー、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- 本製品を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 内蔵フラッシュメモリの空き容量が少なくなると、アプリケーションが起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。その場合は、不要なアプリケーションやデータを削除するなどして、内蔵フラッシュメモリの空き容量を増やしてください。

3 Webカメラについて

Webカメラを使用するにあたって

- Webカメラを太陽に直接向けないでください。
- Webカメラのレンズ部分に触れたり、強く押したりしないでください。画質が低下する原因となります。
  レンズ部分が汚れた場合は、眼鏡ふき（クリーナークロス）などの柔らかい布でふいてください。

4 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。
  無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や厚い紙の束などの障害物で本製品を覆わないようにしてください。
  また、無線LANアクセスポイントと本製品との間を金属板などで遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、『REGZA Tabletガイド 付録 3 無線LANについて』を確認してください。
- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、『REGZA Tabletガイド 付録 3 - 7 使用できる国／地域について』を確認してください。
- 本製品ではアドホック通信は使用できません。

無線LANの操作にあたって

- Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

5 Bluetoothについて

- 本製品は、すべてのBluetooth対応機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべてのBluetooth対応機器との動作を保証することはできません。
- 本製品ではサポートしていないBluetoothプロファイルがあります。
- 本製品のBluetooth機能を使用できる国／地域については、『REGZA Tabletガイド 付録 4 - 6 使用できる国／地域について』を確認してください。

6 周辺機器について

周辺機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。4章の各節を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない周辺機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・本製品に取り付けられているネジは、取りはずさないでください。
  - ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
  - ・本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

USB対応機器の操作にあたって

- 電源供給を必要とするUSB対応機器を接続する場合は、USB対応機器の電源を入れてから本製品に接続してください。
- USB対応機器を使用するには、プラットフォームが対応している必要があります。
- すべてのUSB対応機器の動作確認は行っていません。したがってすべてのUSB対応機器の動作は保証できません。
- USB対応機器を接続したままサスペンドにすると、復帰後USB対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB対応機器を接続し直すか、本製品の電源をいったん切ったあと、電源を入れ直してください。

❏取りはずす前に確認しよう

- 取りはずすときは、USB対応機器をアプリケーションやプラットフォームで使用していないことを確認してください。
- USBフラッシュメモリやUSB接続型ハードディスクドライブ（記憶装置のUSB対応機器）を取りはずす場合は、データを消失するおそれがあるため、必ずプラットフォーム上で使用停止の手順を行ってください。

テレビ／外部ディスプレイ接続の操作にあたって

- すべてのテレビまたは外部ディスプレイと接続動作確認は行っていません。したがって、すべてのテレビまたは外部ディスプレイへの表示は保証できません。
  テレビまたは外部ディスプレイによっては正しく表示されない場合があります。
- 必ず、映像を再生する前に、表示装置を接続してください。再生中は表示装置の取り付け／取りはずしをしないでください。
- 次のようなときには、表示装置の取り付け／取りはずしをしないでください。
  ・データの読み出しや書き込みをしている間
  ・通信を行っている間
- 表示装置を接続しているときに映像を再生させると、画像がコマ落ちをすることがあります。この場合は、表示装置を取りはずしてください。
- ポート拡張クレードルを接続しているときは、本製品のHDMI出力端子を使用できません。

ヘッドセットやヘッドホンの操作にあたって

- 次のような場合にはヘッドセットやヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。
  ・本製品の電源を入れる／切るとき
  ・ヘッドセットやヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

7 バッテリーについて

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

2 記録メディアについて

記録メディアを使う前に、次の内容をよく読んでください。

1 メディアカードを使うにあたって

1 メディアカードの操作にあたって

- メディアカードにアクセス中は、電源を切ったり、メディアカードを取り出したり、本製品の本体を動かしたりしないでください。データやメディアカードが壊れるおそれがあります。
- メディアカードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しくセットされていない場合、本製品の動作が不安定になったり、メディアカードが壊れるおそれがあります。
- サスペンド中は、メディアカードを取り出さないでください。データが消失するおそれがあります。
- メディアカードのコネクタ部分（金色の部分）には触れないでください。静電気で壊れるおそれがあります。
- メディアカードを取り出す場合は、必ずプラットフォーム上で使用停止の手順を行ってください。データが消失したり、メディアカードが壊れるおそれがあります。
- 本製品の本体を持ち運ぶときは、必ずブリッジメディアスロットからメディアカードを取り出してください。ブリッジメディアスロットやメディアカードが破損するおそれがあります。

2 SDメモリカードを使う前に

- ブリッジメディアスロットにminiSDメモリカードをセットするときは、必ずSDメモリカードサイズのminiSDメモリカード用のアダプターを装着した状態で行ってください。
  microSDメモリカードをセットするときは、必ずSDメモリカードサイズのmicroSDメモリカード用のアダプターを装着した状態で行ってください。miniSDメモリカードサイズのmicroSDメモリカード用のアダプターは使用できません。
- ブリッジメディアスロットからminiSDメモリカード／microSDメモリカードを取りはずすときは、必ずminiSDメモリカードまたはmicroSDメモリカード用のアダプターに装着したままの状態で行ってください。
- すべてのSDメモリカードの動作確認は行っていません。したがって、すべてのSDメモリカードの動作保証はできません。
- SDメモリカードは、SDMIの取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。
  そのため、ほかのパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMIとはSecure Digital Music Initiativeの略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。

- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SDメモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMIに準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

SDメモリカードのフォーマットについて

- 再フォーマットする場合は、SDメモリカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。
  本製品でSDメモリカードのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラやオーディオプレーヤーなどほかの機器で使用できなくなる場合があります。
- 再フォーマットを行うと、そのSDメモリカードに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したSDメモリカードを再フォーマットする場合は注意してください。

3 マルチメディアカードを使う前に

- すべてのマルチメディアカードの動作確認は行っていません。したがって、すべてのマルチメディアカードの動作は保証できません。
- マルチメディアカードの詳しい使いかたなどについては『マルチメディアカードに付属の説明書』を確認してください。

2 記録メディアの廃棄・譲渡について

記録メディア（USBフラッシュメモリ、SDメモリカードなど）を廃棄・譲渡する際には、書き込まれたデータが流出しないよう、適切な方法で消去することをおすすめします。
初期化、削除、消去などの操作などを行っても、データの復元ツールで再生できる場合もありますので、十分ご確認ください。
データ消去のための専用ソフトや、記録メディア専用のシュレッダーも販売されています。

3 お客様登録の手続き

製品を使用するときは、自分が製品の正規の使用者（ユーザー）であることを製品の製造元へ連絡します。これを「お客様登録」または「ユーザー登録」といいます。
お客様登録は、本製品の本体、使用するアプリケーションごとに行い、方法はそれぞれ異なります。

1 東芝ID（TID）お客様登録のおすすめ

東芝では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために東芝ID（TID）のご登録をおすすめしております。
サービス内容は、『サポートガイド』を確認してください。

詳しくは、次のアドレス「東芝ID（TID）とは？」をご覧ください。
https://room1048.jp/onetoone/info/about_tid.htm

登録方法

インターネットに接続後、URLを入力して登録用のホームページにアクセスしていただきます。
登録用ホームページ：http://room1048.jp

4 技術基準適合について

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■高調波対策について

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

参照 「7章 2 - 3 - Q 本製品の近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい」

■「FCC information」について

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING : *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's Universal Serial Bus(USB 2.0)port, HDMI out port and microphone/headphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address : TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697
Telephone : (949) 583-3000